

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

- 使用上のご注意
- 器具の近くでリモコン(コントロール)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントロール受信部を離してご使用ください。
 - 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
 - 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。
(ご購入品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼にれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)

製品・お取り扱いなどのご相談は

お客様相談室

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話 0570-055123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

修理・アフターサービスのお問い合わせは

サービスセンター

ナビダイヤル (全国共通番号) 電話 0570-015123
FAX 0570-025123

受付時間：9:00～17:00
(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)

●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際
このような
症状は
ありませんか

●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
●こげくさい臭いがする。
●コードに傷や痛みが見られる。
●グローブ、セードなどにひびが見られる。

→

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、電源
スイッチを切り、必ず販売店
に点検、修理を依頼してくだ
さい。

安全に関するご注意

- 照明器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)
- 周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期使用し続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

コイズミ照明器具 保証書

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
3. グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数など)による故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※This warranty is valid only in Japan.

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店またはコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。

保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球:3年間

お買上月月日

お客様 名前 住所 電話 ()

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 AH54241・AH54242・AH54243

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

❗ 厳守

器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。

🚫 分解禁止

器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。

🚫 禁止

器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。

器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。

❗ 厳守

異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

🔌 アース工事

アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。→アースが不完全な場合、感電の原因になります。

🚫 禁止

このような場所には取付けないでください。この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。→器具の落下によるけがの原因になります。

傾斜天井 壁面 不安定な場所 補強のない場所

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

🚫 接触禁止

点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。

🚫 水ぬれ禁止

この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。

🚫 禁止

ライトコントロールなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。

周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。

器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。

❗ 厳守

表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。

照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

狭小空間(半畳以下)では使用しないでください。→オゾン濃度が高くなり体調を損なう原因になります。

オゾン吹き出し口付近のオゾンを直接吸引しないでください。→直接多量にオゾンを吸い込むと体調を損なう原因となります。

！ オゾン発生器を使用する際は下記の内容を守って使用してください。

- ・オゾン特有の臭いが気になる方、また使用中に頭痛など体調に変化を感じた場合は、使用を中止して換気をしてください。また、医師にご相談ください。
 - ・乳幼児の手の届かないところで使用してください。
 - ・ペットなどの小動物のいる環境で使用する際、小動物の様子に異変があれば使用を中止してください。
 - ・喘息などの既往症のある方は使用に際し、医師にご相談ください。
 - ・油煙や可燃性ガス、金属質のホコリのある場所では使用しないでください。
 - ・オゾン吹き出し口に異物や指を入れないでください。
 - ・オゾン吹き出し口から30cm以上離れて使用してください。
 - ・オゾン吹き出し口を覆わないでください。
 - ・オゾン吹き出し口からの空気を直接吸い込まないでください。また、電気製品、貴金属、宝石に直接吹き付けないでください。
 - ・フィルターは3ヶ月に一度、定期的にお手入れをおこなってください。
- ※本製品のオゾン濃度は密閉空間の適用面積(1畳～3畳)でご使用いただいた場合、平均濃度が0.1ppm以下になるように設計されています。

■ 定格

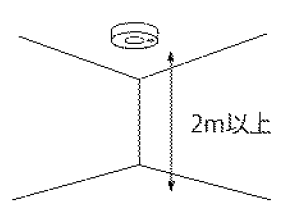
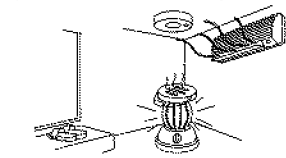
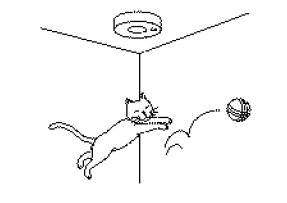
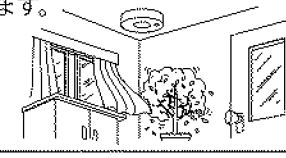
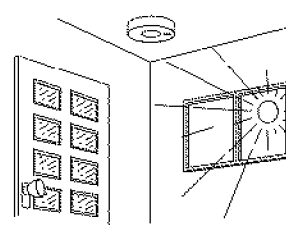
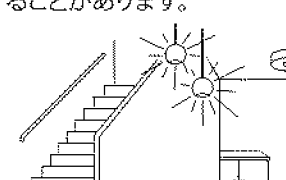
型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AH54241・AH54242 AH54243	AC100V	照明：0.11A オゾン発生器：0.09A	照明：5.2W オゾン発生器：4.4W	LDF4-H-GX53/H/K×1

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.5Wの電力を消費します。
※オゾン発生器の作動時、搭載しているファンが作動し、ファンの動作音がします。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■ 施工前の確認

- 1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する
- 2 設置場所を確認する

・下図のような場所には取付けないでください。
健康被害、ペットへの悪影響、器具誤作動の原因になります。

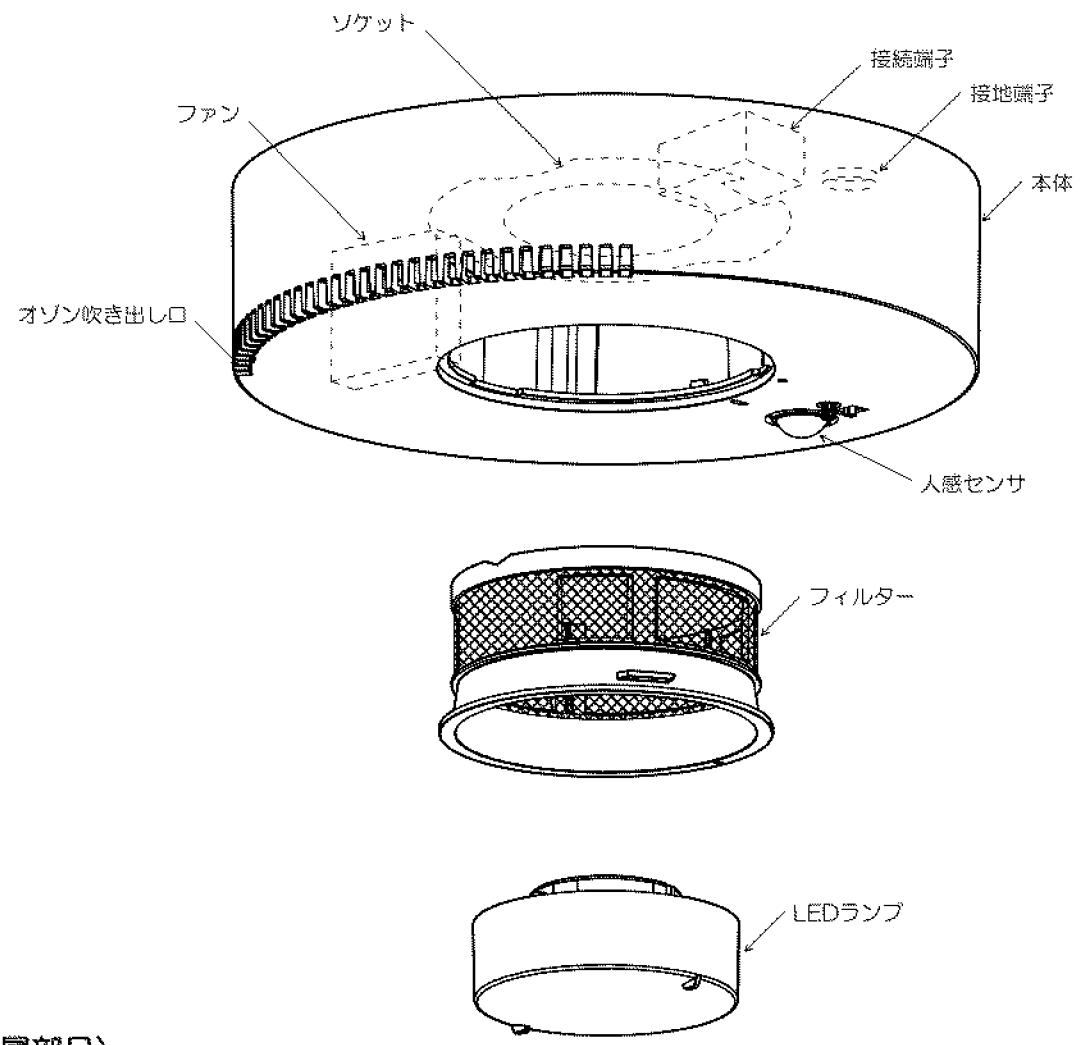
推奨設置高さは2m以上の天井です。 オゾン吹き出し口から30cm以上 離れてご使用ください。 また、狭小空間(半畳以下)には取付 けないでください。 オゾン濃度が想定値よりも高くなる おそれがあります。		ストーブなどの高温熱源付近やエア コンなどの風のあたる場所では 誤作動することがあります。	
小動物を飼っている空間には取付けない でください。また感知エリア内に小動物が 入った場合にもセンサが反応し、作動する ことがあります。		感知エリア内に障害物や風などでよく ゆれるもの(植木、カーテンなど) のある場所では誤作動することが あります。	
太陽光線や強い光が入る場合は、 誤作動することがあります。 センサの感知エリアは、気象条件 によりバラツキがあります。		白熱灯照明器具の近くでは誤作動 することがあります。	

- ・無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。
- ・オゾン特有の酸化作用により革製品やゴム製品、天井クロス材、貴金属類などに变色や腐食を起こす場合があります。
設置場所や使用環境にはご注意ください。

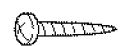
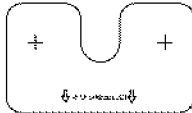
- 3 取付面が十分乾燥していることを確認する
器具や取付面の変色の原因になります。
- 4 壁スイッチを設ける
誤動作時のリセットおよびモードの切り替えができません。

■ 取付手順 △ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

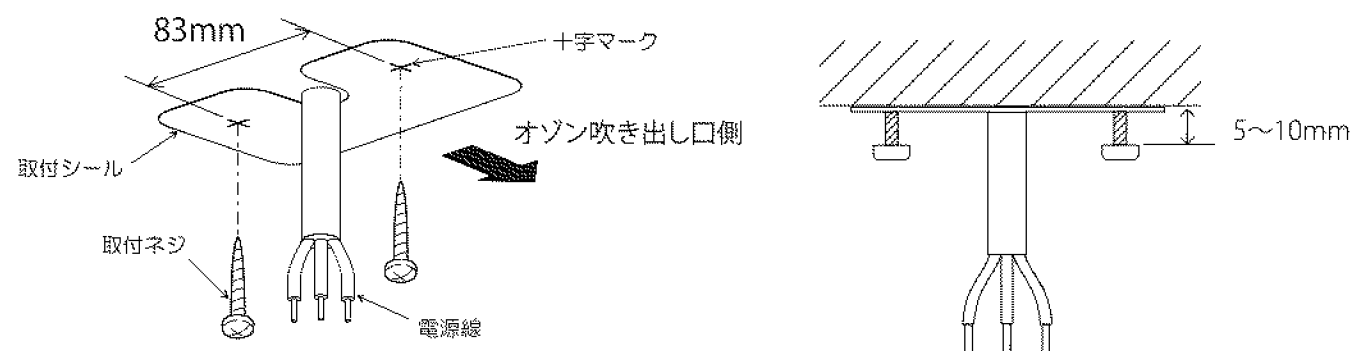


〈付属部品〉

-  取付ネジ(ステンレス製)・・・2本
-  エリアマスク・・・・・・・・・・1個
-  取付シール・・・・・・・・・・1枚

1 取付ネジを取付ける

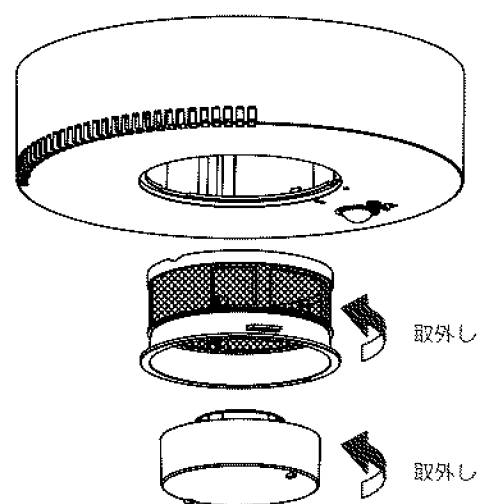
天井に取付シールを貼付けて、十字マークのセンターに付属の取付ネジを仮止めしてください。
取付ネジは天井面よりネジ頭を5～10mmの隙間をあけてください。



※取付ネジは付属のステンレス製のものを使用してください。

2 本体からランプとフィルターを取外す

ランプを左に回して取外してください。
フィルターを左に回して取外してください。



3 電源線を接続する

右図のように電源線の被覆をむき、電源線を接続端子に確実に差し込んでください。
送り配線は照明器具専用としてください。(送り総容量6A)
外す時は解除ボタンを押しながら、電源線を抜いてください。

※送り配線をする場合、右図の被覆部を150mm以上にしてください。

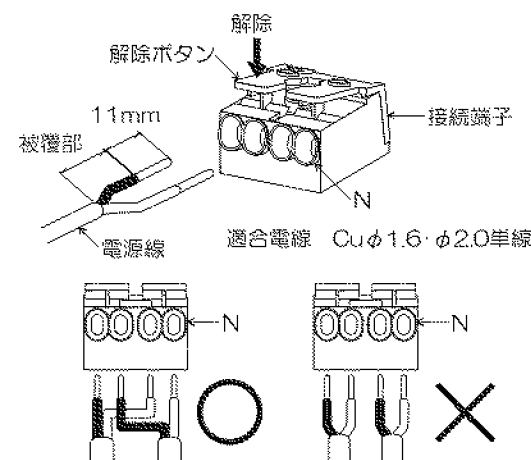
※D種(第三種)接地工事を行ってください。

※必ず壁スイッチを設けてください。

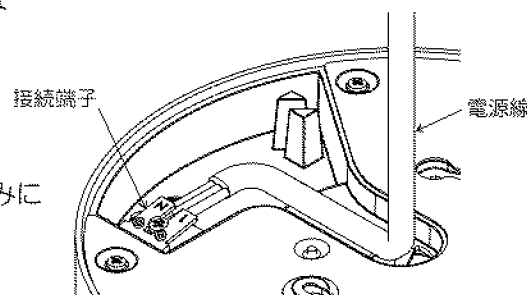
注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。

△警告 電源の接続は確実に行ってください。

接続が不完全な場合や電源線が器具に接触した場合、容量オーバーした場合は火災・感電の原因になります。

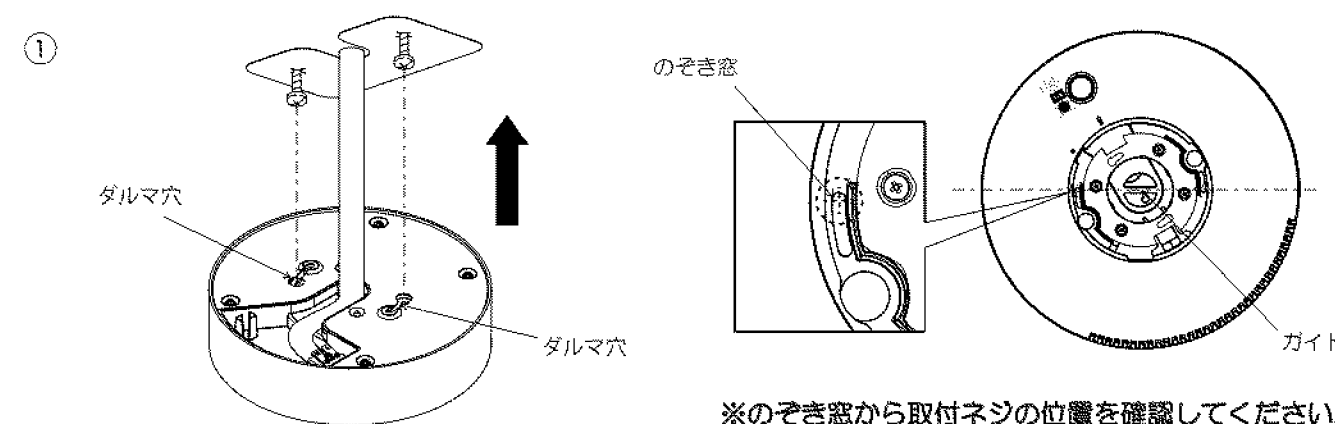


電源線は図のように本体のくぼみに沿うようにしてください。

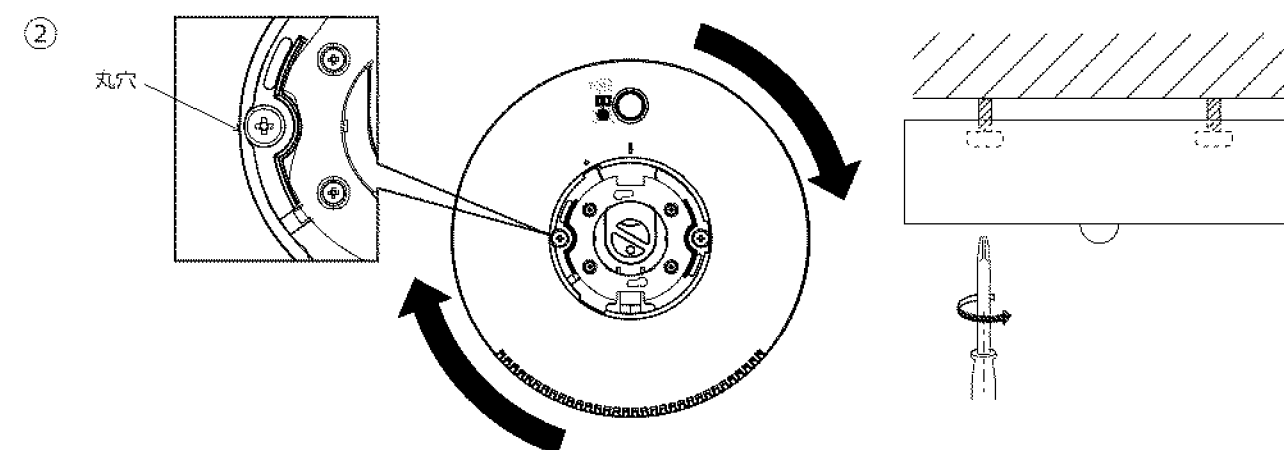


4 本体を取付ける

①本体のダルマ穴に取付ネジを挿入してください。
②本体を右に回して引掛け、取付ネジが丸穴の位置にあることを確認して、取付ネジを締め込んでください。



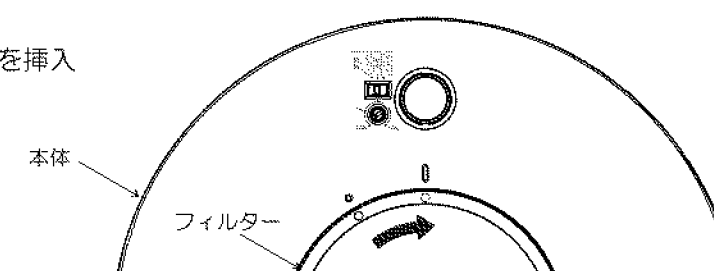
※のぞき窓から取付ネジの位置を確認してください。



本体を図のように回転させ取付ネジの頭が丸穴の位置に来るよう引掛けてください。

5 フィルターを取付ける

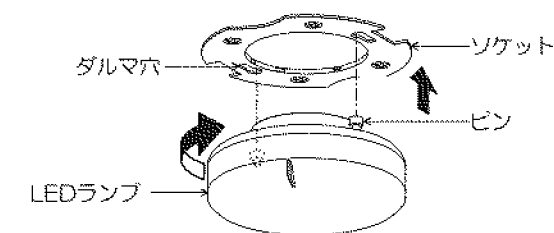
本体とフィルターのO印を合わせフィルターを挿入し、右に回して取付けてください。



6 ランプを取付ける

ランプのピンをソケットのダルマ穴に合わせて押しつけ、“カチッ”と音がするまで右に回して取付けてください。

※ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。落下によるけがの原因になります。



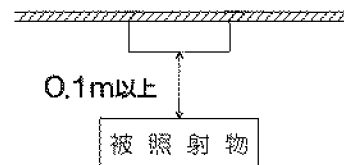
7 点灯確認を行なう

8 感知エリアの設定を行なう

■感知エリアの設定を参照し、テストモードでセンサの動作確認を行ってください。

■照射距離について

- 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。
被照射面との距離は0.1m以上離してください。
- ※オゾン発生器を作動させる場合は0.3m以上離してください。



■ランプ使用上のご注意

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。

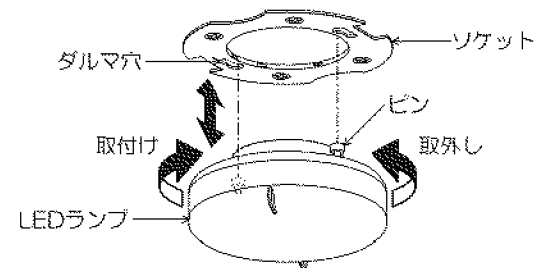
1 電源を切る

2 古くなったランプを取外す

ランプを左に回して取外してください。

3 新しいランプを取付ける

■取付手順6を参考にランプを取付けてください。



4 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■フィルターのお手入れについて

△注意 フィルターお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。しばらくしてから行なってください。
3ヶ月に一度、定期的にお手入れを行なってください。

1 電源を切る

2 ランプを取外す

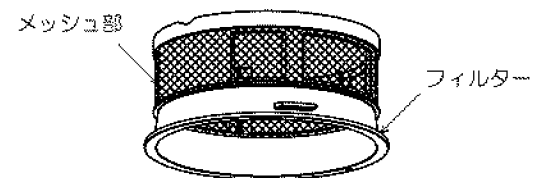
ランプを左に回して取外してください。

3 フィルターを取外す

フィルターを左に回して取外してください。

4 フィルターについた埃を取り除く

フィルターは水洗いできます。
水洗い後はよく乾燥させてください。



※フィルターのメッシュ部は強く押さないでください。
破損の原因となります。

5 フィルターを取付ける

取付手順5を参考に取付けてください。

6 ランプを取付ける

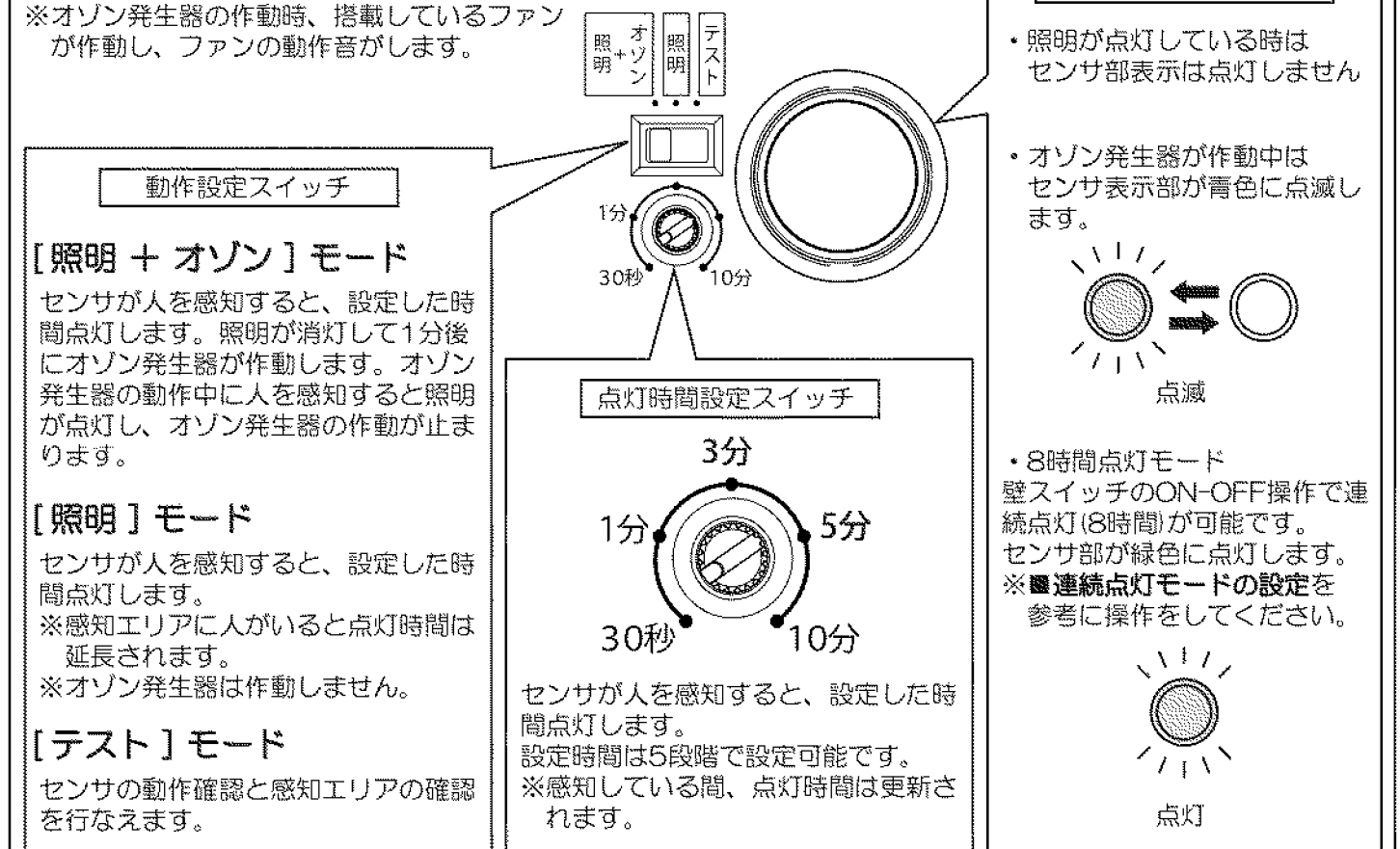
取付手順6を参考に取付けてください。

■センサの内容

※出荷時設定は以下の設定になっています。

- ・動作設定スイッチ：照明+オゾン
- ・点灯時間設定スイッチ：30秒

※オゾン発生器の作動時、搭載しているファンが作動し、ファンの動作音がします。



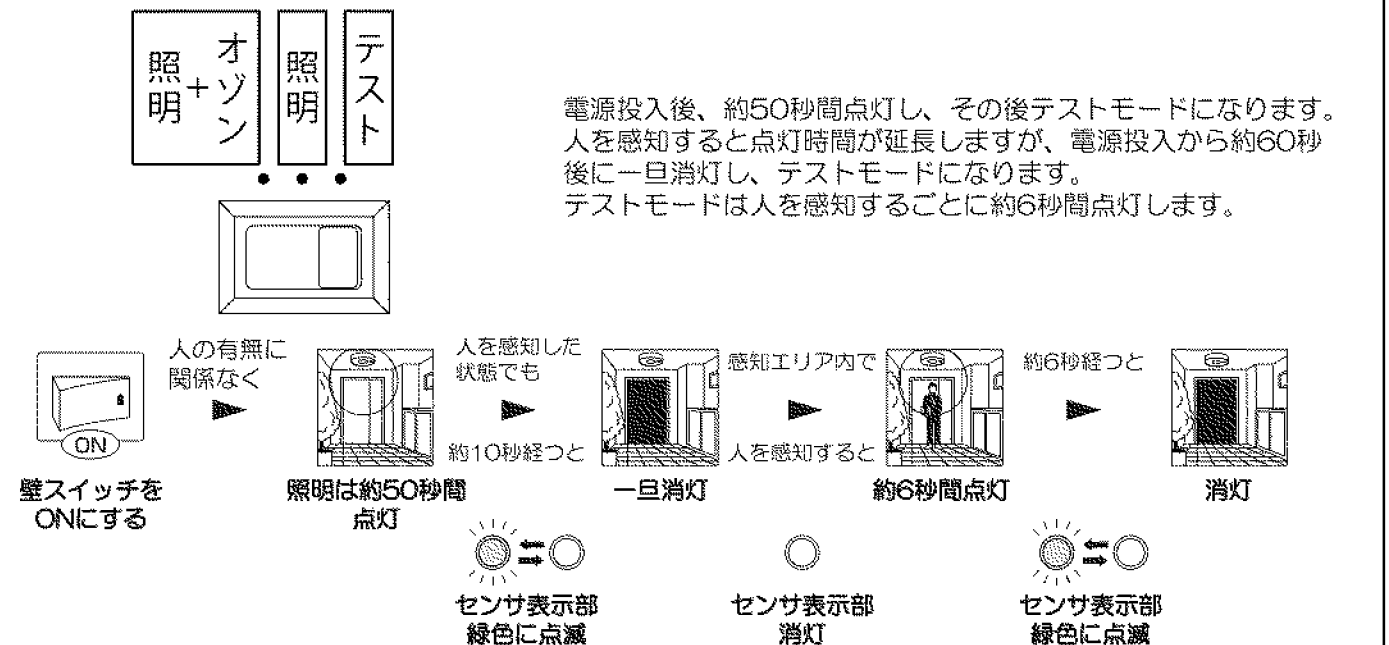
※周囲の照度に関係なく、人を感知すると点灯します。

■感知エリアの設定

テストモードでセンサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

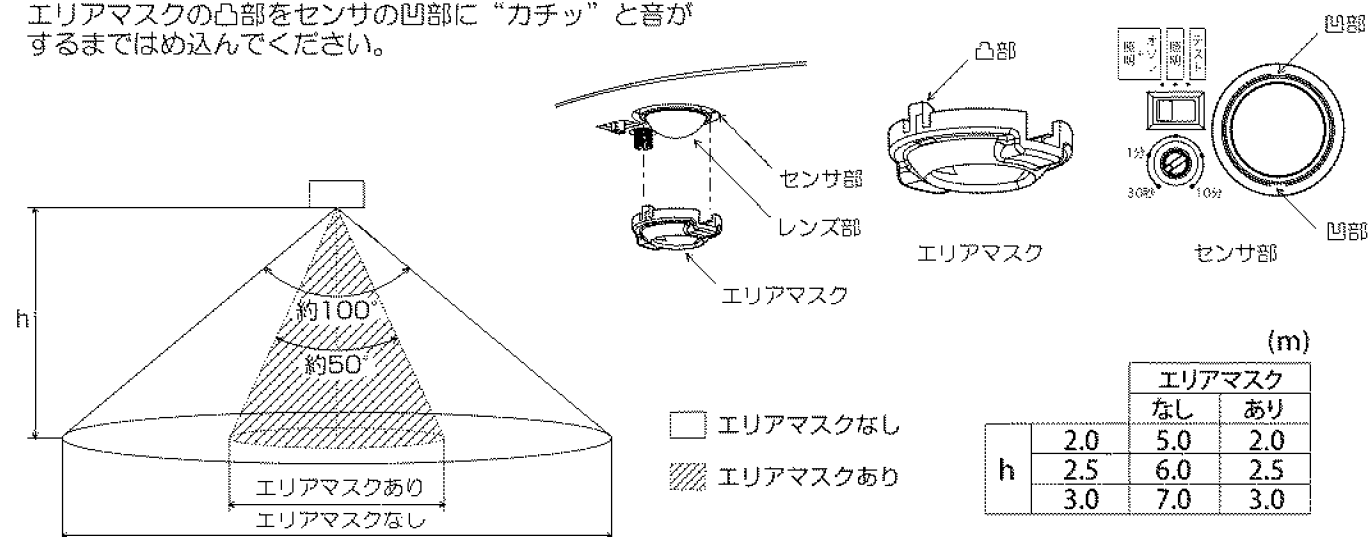
テストモード

下図のように動作設定スイッチを「テスト」にあわせ
センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。



■エリアマスクで感知エリアをせまくできます。

エリアマスクの凸部をセンサの凹部に“カチッ”と音がするまではめ込んでください。



※センサに向かった動作では反応しにくい場合があります。(約半分の距離になります)

※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

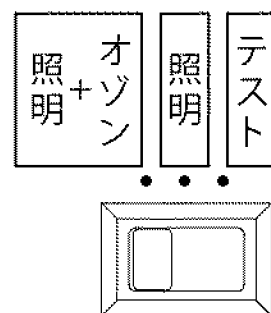
※エリア確認後は必ず■センサの設定を行ってください。

■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯時間を設定してください。

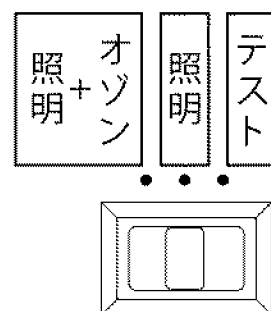
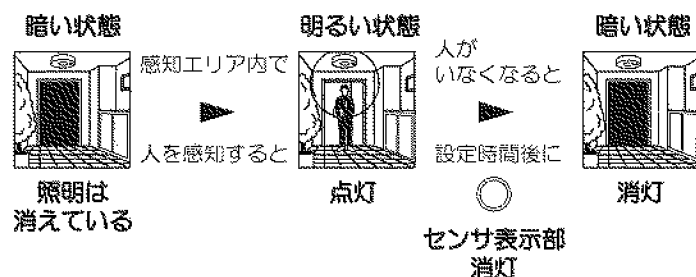
[オゾン+照明]モード

センサが人を感知すると、設定した時間点灯します。
人がいなくなると設定時間後、照明が消灯してファンが作動します。
ファンが1分間作動した後に、オゾン発生器が作動します。
※人を感知しない場合、オゾン発生器は4時間後に停止します。
※オゾン発生器の作動時、搭載しているファンが作動し、ファンの動作音がします。



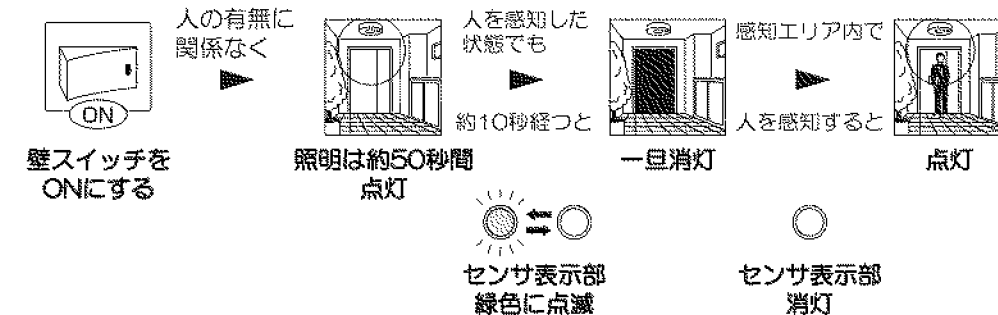
[照明]モード

センサが人を感知すると、設定した時間点灯します。
※センサ表示部は消灯したままです。



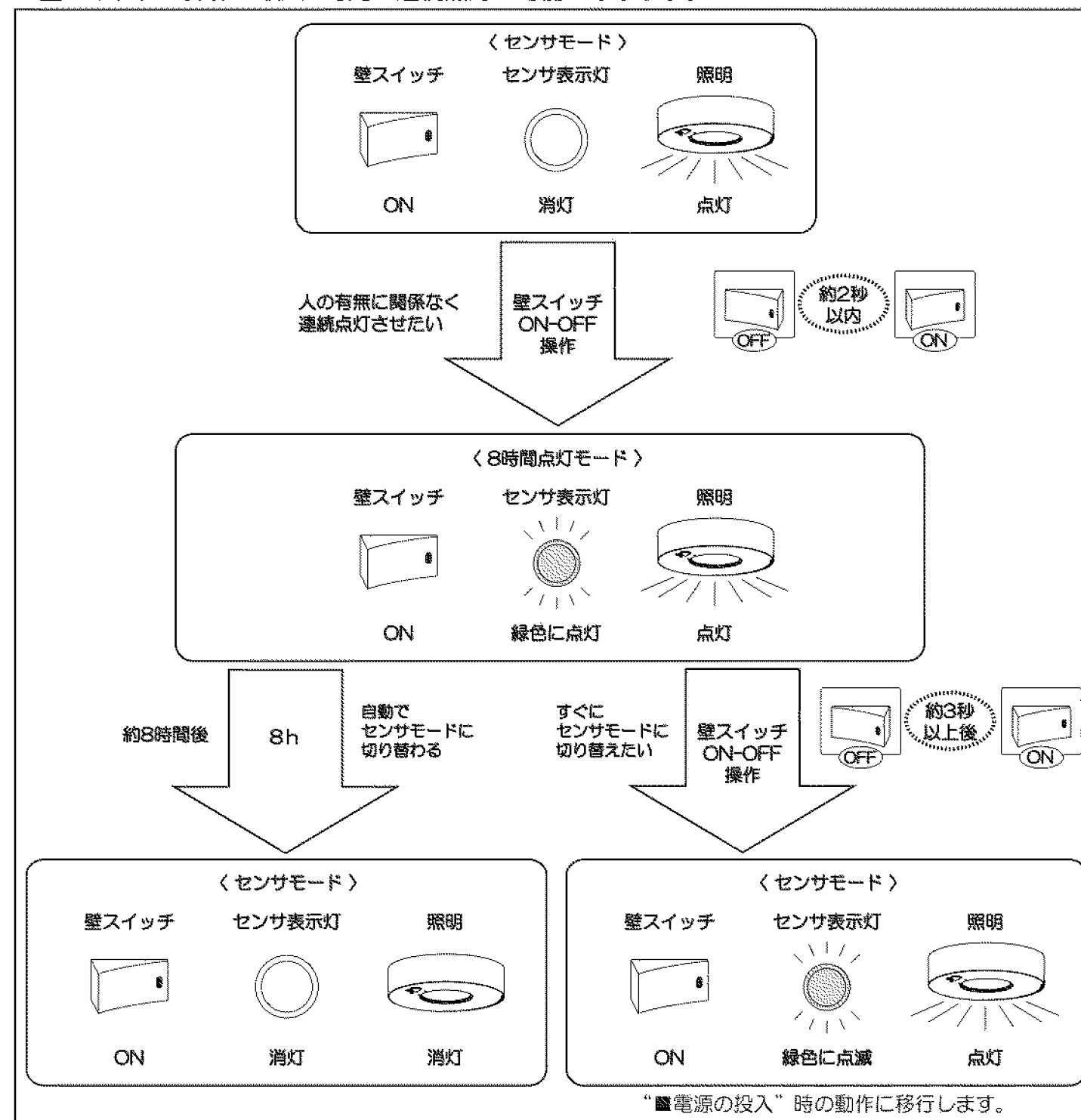
■電源の投入

壁スイッチで電源投入後、約50秒間点灯します。人を感知することに点灯時間が延長しますが、電源投入後約60秒後に一旦消灯し、センサが待機状態になります。その後、人を感知すると設定したモードで作動します。



■連続点灯モードの設定

壁スイッチの操作で最大8時間の連続点灯が可能になります。



修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り
工事店・電器店、サービスセンターにご相談ください。

- センサ感知動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行ってください。
- 正常に戻らない場合は、壁スイッチをOFFにして(3秒以上)再びONにしてください。

こんなとき	考えられる原因	処置
感知エリアに人がいるのに点灯しない	▶ 壁スイッチがOFFになっている ▶ 人が静止しているか動きが小さい	▶ 壁スイッチをONにしてください ▶ 動作を大きくしてください
感知エリアに人がいるのに点灯しにくい	▶ センサがよごれていたり蒸気などの水滴がついている ▶ 感知エリアが適切ではない またセンサに向かって歩いている ▶ エリアマスクを付けている ▶ 寒冷地などで顔がマフラーで覆われていたり手袋をしている ▶ 寒い日などで周囲温度と人体の温度差が少ない	▶ 柔らかい布で傷がつかないようにふきとってください ▶ 感知エリアを調節してください (説明書P7～8の■感知エリアの設定をご確認ください)センサに向かっての動作は感知しにくくなります ▶ エリアマスクを外してください ▶ 本センサは温度変化を感知するため左記の場合感知しにくいことがあります (故障ではありません)
感知エリアに人がいないのに点灯している	▶ 感知エリアに人以外の熱源がある (例) 白熱灯照明器具 エアコンなどの吹き出し口 風などでよく揺れるもの (植木、カーテンなど) 犬や猫などの動物 ストーブなどの暖房器具 ▶ 感知エリアが適切ではない ▶ エリアマスクを付けていない ▶ 壁スイッチをONした直後または停電から回復した直後 ▶ 壁スイッチの操作により8時間点灯モードになっている ▶ 3秒以内の停電により、8時間点灯モードになっていることがまれにありますが、故障ではありません。	▶ 感知エリアの熱源を取り除いてください 本センサは温度変化を感知するため左記の要因で感知エリアの温度変化があった場合、センサが反応する場合があります (故障ではありません) ▶ 感知エリアを調節してください (説明書P7～8の■感知エリアの設定をご確認ください) ▶ エリアマスクを付けてください ▶ 壁スイッチON後、約50秒間は点灯します(故障ではありません) ▶ 壁スイッチを一度OFFにして(3秒以上)再びONにしてください
人を感知して点灯するがすぐに消灯する	▶ センサの設定がテストモードになっている ▶ 壁スイッチをONにした後、約60秒以内である	▶ センサの設定を変更してください (説明書P8の■センサの設定をご確認ください) ▶ 壁スイッチON後、50秒間点灯し、その後、約10秒は明るくても人を感知するごとに約6秒間点灯します(故障ではありません) 壁スイッチONから約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります (連続点灯モードは除く)

オゾンに関するよくあるご質問

記載のないご質問については弊社サービスセンターにご相談ください。

- オゾンに関するよくあるご質問と回答をまとめています。

項目	ご質問内容	回答
効果 効能	▶ オゾンにはなぜ除菌や消臭効果があるのでしょうか? ▶ オゾンには殺虫効果はあるのでしょうか?	▶ 一般的にオゾン(O₃)は、菌や臭いの基となる物質の近くにあると、酸素原子3つのうち1つを分離させて酸素(O₂)になるとうします 菌やにおいの基となる物質は、オゾンの酸素原子と融合することにより酸化させられ破壊されます ▶ オゾンには殺虫効果はありません
人体や ペットへの 影響	▶ オゾンは人体に有害でしょうか? ▶ オゾンはペットや小動物に有害でしょうか?	▶ 高濃度のオゾンには人体に悪影響を及ぼすことが確認されています 日本産業衛生学会では作業環境基準としての許容濃度を0.1ppm(0.2g/m³)以下と定められています 当製品は許容濃度の0.1ppmを下回る平均濃度となるように設定されております ※有人環境下ではセンサが人を感知してオゾンは排出されません ▶ 高濃度のオゾンはペットや小動物に悪影響を及ぼす場合がございます ペットや小動物が長時間留まる場所でのご使用は控えてください
その他	▶ オゾンは臭いがするのでしょうか? ▶ オゾン発生器が作動している間、音は鳴るのでしょうか? ▶ 革製品やゴム製品、貴金属類などに影響はあるのでしょうか? ▶ 推奨する空間の広さはどのくらいでしょうか?	▶ オゾン特有のツンとした臭いを感じる場合があります ▶ 当製品はオゾン発生器がオゾンを発生させる際に、微小な放電音がなります また、オゾン発生器の作動時には、搭載されているファンが作動します ▶ オゾン特有の酸化作用により、変色や腐食を起こす場合があります 設置場所や使用環境にはご注意ください ▶ 1畳～3畳までの空間を推奨しています